

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQL II				科目コード	T1320B4			
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位			
担当教員名	琴川 泰則	履修グループ	2A(JT/KS/SI)				授業方法	演習			
実務経験の内容	セラミックス系企業にて研究職に従事し、主にセラミックス小径ビーズの開発に携わった。また、同期間に大阪の公的研究所でセラミックスの射出成型に関する研究も行っていた。 高校にてコンピュータ実習室の管理に5年ほど携わり、Active Directoryの構築、コンピュータ実習室の設計、運営管理などを行っていた。										
学習一般目標	IT市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。 3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成します。										
授業の概要および学習上の助言	複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。 各章ごとにある実習問題を通してSQL文を習得してください。										
教科書および参考書	なし										
履修に必要な予備知識や技能											
使用機器	パソコン機器										
使用ソフト	Oracle Live SQL										
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が到達すべき行動目標								
	1		データベースの基本的な概念を理解し、説明できる。								
	1/2		SQL文を使用したデータベースの操作ができる。								
	3		なし								
	4		なし								
	1/5		講義と実習に意欲をもって取り込むことができる。								
達成度評価	評価方法		試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30				30				60
		2.思考・判断	30								30
		3.態度									
		4.技能・表現									
		5.関心・意欲								10	10
	総合評価割合						30			10	
評価の要点											

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	授業期間中にペーパー試験を実施します。(持ち込み有り) SQLの作成、SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問います。 60点
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	各章ごとに実習を出題します。 30点(オプション問題はプラス α 加点をします)
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席回数、態度など総合的に判断します。 10点

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	7章 複数の表からのデータの表示(等価結合、非等価結合)	講義・実習	実習1
第2回	7章 複数の表からのデータの表示(自己結合、3表の結合)	講義・実習	実習1
第3回	7章 複数の表からのデータの表示(外部結合)	講義・実習	実習1
第4回	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決(単一行副問合せ)	講義・実習	実習1
第5回	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決(グループ関数の使用)	講義・実習	実習2
第6回	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決(HAVING句での副問合せ)	講義・実習	実習2
第7回	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決(複数行副問合せ)	講義・実習	実習2
第8回	10章 データの操作 DML文	講義・実習	実習2
第9回	10章 データの操作(トランザクション)	講義・実習	実習4
第10回	11章 DDL文を使用した表の作成と管理(表の作成、デフォルト、表の削除)	講義・実習	実習4
第11回	11章 DDL文を使用した表の作成と管理(制約概要)	講義・実習	実習5
第12回	11章 DDL文を使用した表の作成と管理(制約構文)	講義・実習	実習5
第13回	確認テスト		
第14回	課題解決型授業1 実習3	遠隔授業 実施時期:5期	授業内容の復習
第15回	課題解決型授業2 問題解決方法を考える	課題解決型授業2 実施時期:7期	授業内容の復習